

研究構想シート		学校名	江津市立桜江小学校
		氏名	竹本 紗央里
A 研究主題		自ら学び、考え、表現できる子どもの育成～基礎・基本を大切にした学習指導を通して～	
B 研究の目的		学習の基礎・基本を身につけ、主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる児童を育成すること。	
C 子どもの実態 【学習習慣等について】 ・姿勢が崩れたり、鉛筆を正しくもてなかったりする。 ・提出物や課題を最後までやりきり、提出することができない子どもがいる。 ・自主性や学習意欲が低い。 ・高学年になるほど、基礎的な読み・書き・計算の積み上げがない。 【自分の考えをもつこと、表現することについて】 ・自分の考えをもてなかったり、考えをもつのに時間がかかったりする。 ・自分の考えや思いを伝えるのに、言葉が足りない。 ・間違ふことを恐れ、考えたことを自信をもって表現するのが難しい。 ・授業では、特定の人だけが発表する。 ・台本があるような発表は大きな声で堂々とできる。	E 手立て・内容（研究仮説） （１）基礎・基本の定着を図ることで、自ら学び、考える子どもが育つであろう。 ⇒【手立て】・学習規律や学習習慣の定着を図る掲示物。 ・チャレンジタイムの設定と学力テストの分析を生かした課題への取組。 ・家勉強ウィーク、月一回の書き取り・計算会の実施。 ◎自学ノートの推進。 ◎語彙を増やすための常時活動。 （２）自分の考えを表現する場の工夫や協働的な学びの場を効果的に設定することで、自分の考えをもち、表現できる子どもが育つであろう。 ⇒【手立て】・めあてと振り返り等、一貫した授業の流れの構築。 ・発問やワークシート等の工夫。 ◎自分の考えを表したり、意見交流をしたりする際の効果的なICT活用。	D めざす子どもの姿 ・望ましい学習習慣を身につけ、前向きに学習に取り組む子ども ・基礎的な読み・書き・計算の力を身につけ、主体的に課題に取り組むことができる子ども ・自分の考えをもち、表現できる子ども	
	F 検証方法 ・（１）の具体的手立てを行うことが、自ら学び、考える姿に繋がったか分析する。〔アンケートの比較、行動観察、書き取り・計算会や学力テストの結果、自学ノートの取り組み方〕 ・（２）の具体的手立てを行うことが、自分の考えをもち、伝え合うのに有効であったか検討する。〔アンケートの比較、行動観察、ワークシート、ノート、振り返り〕		
	G 研究計画 1 事前アンケート調査（児童の意識調査） 2 具体的な手立てを考える（１）・自学ノートを推進について。 ・語彙を増やすための常時活動について。 （２）・授業の流れ等について。 ・効果的なICTの取り入れ方について。（職員研修） 3 授業実践と日々の指導 4 事後アンケート調査（児童の意識調査） 5 学力テスト分析。（基礎・基本、文章で書く問題の正答率） 書き取り・計算会の年間通した得点率。 6 子どもの変容について考察 7 研究の成果と課題をまとめる		